

13.生活安心・防犯 に関する施策

■施策評価シート 13-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-①	施策名	市民相談業務の充実	

施策の概要
相談員の資質向上や相談体制の充実に努め、相談を受けた市民の生活上の不安や問題の早期解決を図ります。

成果指標(単位)	市民相談件数(件)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	730	730	730	730
実績値	720	807			

成果指標実績に対するコメント
相続や相隣関係など市民生活の心配ごとや不安について807件の相談があり、解決に向けた助言や情報提供を行うことができた。

施策の達成度評価
相談の解決を図るための助言や、庁内外の関係機関や法律・税務等の専門機関への案内や情報提供を行い、心配ごとや不安の解消に向けて丁寧な対応を行うことができた。
—

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民生活における心配ごとや不安の相談窓口として、相談内容に応じた助言および関係機関や専門機関への案内や情報提供を行うとともに、相談員の資質向上を図り、相談者へ丁寧な対応をする。
—

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市民相談室運営事業	生活安心課	○	市民生活における様々な相談に応じた助言および関係機関や専門機関への案内や情報提供を行い、相談に適切に対応できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-②	施策名	消費者の自立支援・消費者教育の推進と消費者団体の育成	

施策の概要

消費生活に関する相談や出前講座を行い、消費者がトラブルに巻き込まれないように教育や啓発に努めるとともに、消費者団体の育成や支援を行います。

成果指標(単位)	消費生活センターのあっせんによる相談事案の解決率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	96.8	97.1	97.4	97.7
実績値	96.5	96.6			

成果指標実績に対するコメント

消費生活に関する契約トラブルなどの相談(苦情)が1,217件寄せられており、消費生活相談員が丁寧に聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行い、課題解決・消費者被害救済につなげた。目標値には達しなかったが、悪質性の高い事業者への対応や自力で解決が難しい相談も多く、引き続き粘り強い交渉で消費者被害の救済に取り組んでいく。

施策の達成度評価

身近な相談窓口として、消費者トラブル解決のための助言や支援を行うことができた。また、草津市消費者リーダー会と連携して、イベントでの啓発や地域サロンや学校等で消費者教育の出前講座を実施するとともに、広報紙やホームページ等の媒体を活用した情報発信や注意喚起を行うことができた。引き続き、消費者被害の未然防止と消費者の自立支援をしていく必要がある。

—

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、解決に向けた助言等を積極的にを行い消費者被害救済に努めるとともに、複雑多様化する相談に対応するため、国民生活センター等が実施する消費生活相談に関する専門研修を積極的に受講し消費生活相談員のスキルアップに努める。また、消費者トラブルや消費者被害の未然防止のため、草津市消費者リーダー会と連携し、学校や地域における出前講座の実施など積極的に啓発を行うとともに、消費者トラブル事例と対処法の情報発信など、あらゆる年代に向けた注意喚起を行っていく。

—

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
消費者教育推進事業	生活安心課	○	消費者トラブルに関する情報発信や消費者教育の出前講座の実施など啓発活動に取り組んだ結果、消費者被害の未然防止を図ることができたため。
消費生活相談啓発事業	生活安心課	○	消費生活相談員による丁寧な聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行った結果、消費者被害救済につなげることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
		実数							
		偏差値							
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-③	施策名	生活衛生の向上と栗東市との広域連携による火葬体制の確立	

施策の概要

生活衛生の向上のため、畜犬登録・狂犬病予防注射の実施、火葬場や市営墓地の適正管理等とともに、栗東市との広域連携による新たな火葬施設の整備に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	狂犬病予防注射接種率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		79.9	80.1	80.4	80.6
実績値	79.6	79.0			

成果指標実績に対するコメント

犬の飼い主に対して狂犬病予防注射について案内し、各地域まちづくりセンター等を会場に集合注射を実施し、未接種の飼い主に対して接種の勧奨を行った結果、目標値には達しなかったが、全国(R6接種率:70.8%)および滋賀県(R6接種率:66.6%)の接種率に比べて、高い接種率を保つことができた。

施策の達成度評価

狂犬病予防注射の接種率向上のため、未接種の飼い主に対して接種の勧奨を行い、周知啓発を図るとともに、畜犬登録が適切に行われるよう、ペットショップや転入者等への案内に加え、新たに畜犬登録に係るオンライン申請を開始した。そして、生活衛生の向上、市民生活の安心につなげるため、火葬場の安定的な管理運営や市営墓地の適正な維持管理に努めた。また、新たな火葬施設の整備に向け、一部事務組合および栗東市と連携し、事業推進に取り組んだ。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値は57.9と、前年度の55.2より高い数値となった。この結果を踏まえ、引き続き、新たな火葬施設の整備に向け、取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

狂犬病予防注射の未接種の飼い主に対して接種の勧奨、接種率の向上のため周知啓発を行うとともに、火葬場および市営墓地の管理を適正に行い、生活衛生の向上を図っていく。また、新たな火葬施設の整備については、令和9年度末に供用開始がされるよう、一部事務組合および栗東市と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

火葬場や市営墓地の適正管理は、「No19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、指標の数値が年々高まっていることを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、新たな火葬施設の整備に向けて取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
畜犬対策事業	生活安心課	○	畜犬登録に関する周知啓発、狂犬病予防注射の接種促進に努めた結果、全国と滋賀県の平均接種率より高い接種率を保つことができたため。
火葬場管理運営事業	生活安心課	○	指定管理者制度による火葬場の管理運営を行うとともに、必要な保全修繕を実施した結果、円滑な火葬業務が実施できたため。
市営墓地管理事業	生活安心課	○	墓地の清掃や草刈等を実施した結果、良好な墓地の環境が維持でき、市営墓地の適正管理が実施できたため。
草津栗東行政事務組合負担金事務	生活安心課	○	草津栗東行政事務組合および栗東市と連携し、新たな火葬施設の整備に向けて取り組むことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小動物死骸処理事業	環境政策課
駅前公衆便所維持管理事業	資源循環推進課
公衆衛生確保対策事業	生活安心課
路上喫煙対策事業	生活安心課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2				
		偏差値	55.2	57.9				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考	
客観指標No. (令和7年度)								

■ 施策評価シート 13-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	13-02-①	施策名	自主防犯活動の展開	

施策の概要
街頭啓発の実施や防犯ボランティア団体等への活動支援等を通じて市民の防犯意識の高揚につなげ、警察や県と連携を図りながら、犯罪抑止に努めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	63	62	61	60
実績値	63.4	67.6			

成果指標実績に対するコメント
人口1万人当たりの犯罪認知件数の実績値は、目標値を4.6件上回り、目標値を達成することができなかった。県内でも知能犯を中心に犯罪認知件数が増加しており、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の発生が影響しているものとする。

施策の達成度評価
地域や警察と連携した啓発活動等により、人口1万人当たりの犯罪認知件数は県平均との差が縮まってきたものの、発生件数は増加傾向にあり、犯罪抑止に向けて、市民の防犯意識の向上に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、地域や警察と連携し、子ども110番の家や防犯パトロール等の取り組みを推進しており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、犯罪抑止に向けて、地域や警察と連携した防犯対策に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
特殊詐欺等の被害防止に取り組むため、警察と連携した啓発や防犯アプリの登録に力を入れるとともに、地域の防犯活動を支援するため、栗東市と連携し草津栗東防犯自治会の取組を進める。
地域や警察と連携した取組は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、地域や警察と連携した取組を一層進める。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	啓発や地域の防犯活動への支援に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
30	私の暮らしている地域は、防犯対策 (交番・街燈・防犯カメラ・住民の見 守り等)が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		78							

■施策評価シート

13-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	13-02-②	施策名	防犯設備の維持・整備	

施策の概要

長寿命を考慮したLED防犯灯の設置、また、防犯設備の設置促進等により、犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		63	62	61	60
実績値	63.4	67.6			

成果指標実績に対するコメント

人口1万人当たりの犯罪認知件数の実績値は、目標値を4.6件上回り、目標値を達成することができなかった。県内でも知能犯を中心に犯罪認知件数が増加しており、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の発生が影響しているものとする。

施策の達成度評価

子ども見守り防犯カメラおよびくらし見守り防犯カメラの設置により、人口1万人当たりの犯罪認知件数は県平均との差が縮まってきたものの、発生件数は増加傾向にあり、犯罪抑止に向けて、防犯灯や防犯カメラの設置を一層推進する必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」があり、偏差値は60を上回る結果であった。
本市では、県内で先駆けて防犯カメラの設置に取り組んでおり、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、犯罪抑止に向けて、警察と連携した防犯カメラの活用に取り組みしていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

市で設置する防犯灯の設置要望の受付、町内会への防犯灯・防犯カメラ設置補助金の交付を実施する他、警察と連携しながら防犯カメラの運用を進める。また、町内会等が管理するLEDの防犯灯が耐用年数を迎えつつあることから、維持管理費の負担軽減策について検討を進める。

防犯カメラおよび防犯灯設置の取組は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、防犯カメラおよび防犯灯設置の取組を一層進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯灯維持管理事業	危機管理課	○	防犯灯の新設、修繕等に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。
防犯カメラ維持管理事業	危機管理課	○	防犯カメラの維持管理を行い、犯罪抑止力を強化できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
30	私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		78						